

6月定例会 市長より議会へ 行政報告



門脇禎夫市長

平成23年第2回香美市議会6月定例会が6月16日に開会されました。定例会初日には議長・各特別委員長の報告、また門脇市長より各課関連の行政報告がありました。行政報告から抜粋して掲載します。

組織再編

四月一日付で組織再編と職員の人事異動を行った。また、新庁舎移転後は住民サービス向上のため、昼休みの窓口業務を拡大した。

補助金パンフレット

本年度、市民の皆様を活用していただくために「個人や地域組織等が活用できる香美市の補助金」パンフレットを作成した。なお、個別に補助金通知があるものや、一団体のみへの補助金は掲載していない。

東日本大震災への支援

東北地方太平洋沖地震では、東日本各地で

甚大な被害が発生したことから、本市では物資及び人的支援を行うと共に住民の皆様から寄せられた義援金を日本赤十字社に託し、記録を手渡した。

物資支援状況

日 時	物 資 名	数 量 (食)	支 援 先
平成23年3月22日	クラッカー	6,300	宮城県
	カロリーメイト	24,000	

人的支援状況

支 援 期 間	職 種 内 訳	人 数	支 援 先
平成23年3月17日～19日	香美市消防署職員	3	岩手県大船渡市
平成23年5月26日～30日	健康介護支援課保健師	1	宮城県南三陸町

災害義援金 (5月末日現在)

	金 額 (円)
香 美 市	1,000,000
一般義援金	10,011,816

東日本大災害への 支援状況

5月末日現在



防災計画策定

香美市地域防災計画の策定について「(株)ぎょうせい」と業務委託契約を締結し、六月七日に、スケジュールや資料確認作業を実施した。本計画は、災害時の各課の所掌事務の見直しや平成二十年三月以降の法改正等に対応するため見直し作業を行うものだが、東日本大震災の影響や研究成果も十分に勘案し、今後の策定作業を進めていく。

市職員一〇名を含む二十五名の香美市防災会議の委員が本年度末を目途に新計画策定を目指す。

物部町の 小規模特別養護 老人ホーム

平成二十二年十二月から行っていた施設用地の造成工事が完了し、引き渡しを受けた。今後は社会福祉法人により建物建築が進められる予定である。

戸別所得補償制度

食料自給率向上のための水田農業者戸別所得補償制度は、四月下旬から受付を開始しており、五月末時点での受付数は三千八百件で六百三十一件が戸別所得補償の対象になり、二千四百七十七件は制度要件を満たしていないため、対象外となった。

「香美市 いんふおめーしょん」ほか

「香美市いんふおめーしょん」の年間来場者数は一万二千七百九十二人だった。ふるさと雇用再生特別基金事業では、六事業で八人を雇用し四千三百七十



香美市いんふおめーしょん

七万七千六百八十二円の実績となった。消費者相談関係は平成二十二年五月から県の補助を受けて相談員を一名雇用し、消費者相談や多重債務相談などを行った結果、三月末までの相談件数は三十八件で市民の生活不安解消の一助となっている。

土木関連

社会資本整備総合交付金の減額による影響は、橋梁の点検業務ほか二件の委託業務が対象となり、次年度以降へ計画変更となった。災害復旧作業については五月二十九日の台風二号の影響により、市道拓開舞線で山腹崩壊が発生し、国査定の準備を行っている。県営施工による、高知山田線の伏原地区から佐野地区へ抜ける山田バイパスは設計調査（予備設計）に着手しており、年内には調査完了予定である。

地籍調査については、本年度は物部町仙頭、香北町河野、土佐山田町本村の各地区が予定されている。

生活保護の 状況

前年度と比較すると被保護人員、被保護世帯、相談延件数ともに減少した。被保護世帯の内訳を見ると「高齢者世帯」が約半数を占めているが、失業を理由に保護受給となる「その他世帯」の占める割合が年々増加してきており、保護開始世帯の五〇%以上となっている。

図書館

本年度から市内の全図書館は祝祭日も開館し、利用者の利便性向上を図っている。

火災、救急・ 救助出動

平成二十三年一月一日から四月三十日までの火災、救急及び救助出動件数は、昨年同期と比較して火災件数は七件、救急出動は五十五件の増、救助出動は三件の減である。火災件数は、五月末現在で昨年の年間発生件数と同数となった。



消防本部